



沖縄県立那覇国際高等学校

飛躍

学校だより 第9号

2026年（令和8年）9月24日

校是：右文尚武

（学業を尊び、部活動にも励む）

発行者 校長 伊志嶺嘉典

高校教育改革促進事業に内定！

この度、本校は文科省が進める高校教育改革「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」において、本県のモデルとなる「先導拠点校」の「類型2」として、内定を受けました。

*** N-E.X.T.ハイスクール構想とは？ ***

AIの進展など社会が急激に変化する中、2040年に向けて生徒一人ひとりの個性や興味・関心に応じた学びを支え、希望する進路の実現を目指す国の高校教育改革ビジョンです。多様な学習機会の確保（New Education）、高校の特色化・魅力化（New Excellence）、柔軟な学びへの転換（New Transformation）の3つの柱で展開されています。

本校が指定を受けた「類型2」は、文理にとらわれない幅広い教養を備え、実社会で新しい価値を創造する人材の育成を目指すモデルです。本校では先導拠点校として、教育環境を整備するとともに、生徒の希望する進路の実現に向けた新たな教育カリキュラムとして「進学型単位制」への移行を進めてまいります

■ 本校の今後の主な取組

1. 「進学型単位制」への移行と柔軟な進路支援

生徒の進路希望や興味・関心に合わせて必要な科目を柔軟に選択できるカリキュラムへと転換し、希望する大学等への進学をはじめとする個々の進路実現を支援していきます。

2. 探究環境の整備と専門人材による伴走支援

探究ラボ棟を校内に設置し、OIST（沖縄科学技術大学院大学）等と連携し、専門的知識を持つ方々と連携して生徒の探究活動をサポートします。

3. 大学・地域産業・海外との連携

琉球大学やOIST、地元企業等との協働による実践的な課題解決プログラムに取り組みます。さらに、台湾など海外の学校との交流を通じて、グローバルに活躍できる視点と発信力を育てます。

具体的なカリキュラムやスケジュールにつきましては、決定次第順次お知らせしてまいります。新たな教育体制と先進的な環境整備を進め、生徒たちの将来の可能性を広げてまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～ OIST 特別講義 ～

OISTで行われた、オックスフォード大学の時枝 正教授による特別講義に本校生徒も参加してきました。講義のタイトルは『数も式もない計算』～数学が手品みたいに面白くなる！～ 引率した小松先生によると、手品のような実演を通して、「数や式もない世界にも計算の本質がある」ということを分かりやすく楽しく紹介してくれたとのこと。参加した生徒からも「すごく刺さった。世界観が広がるとても楽しい時間だった」との感想があったそうです。

世界の第一線で活躍する研究者の知性に触れた生徒たち。将来、世界で活躍する研究者が育つことを楽しみにしています！



亀!?

職員会議後、校長室へ戻る途中、生物室前の中庭で、何か採取する様子の1年生二人組に声をかけると、帰ってきた返事が「亀の世話をしています。」えっ、と思ったら、落ち葉に潜っていた亀と散歩中の亀が2匹いました。本校に赴任して約半年、校内に「セマルハコガメ」と「ミシシippアカミミガメ」がいたとは驚きでした。

